

普及項目	担い手
漁業種類等	
対象魚類	
対象海域	天草海、八代海

天草地区漁業士会による魚類養殖漁業体験教室開催

天草広域本部水産課・永田 大生

【背景・目的】

天草地区漁業士会では、後継者育成活動として、地元高校生に対する魚類養殖漁業体験教室を実施してきた。30年度は魚類養殖漁業を身近に感じてもらう内容とすることで、地元漁業への興味と関心を高めてもらい、将来の漁業就業につなげることを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1)魚類養殖漁業体験教室

日時：平成 31 年 3 月 12 日

参加者：熊本県立天草高校倉岳校 1 年生 17 名、漁業士 2 名、海水養殖組合職員 1 名、水産課 1 名

場所：熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所(天草市栖本町)および魚類養殖漁場(上天草市龍ヶ岳地先)

概要

高度衛生加工場を見学後、漁業士が年間・週間・一日のスケジュールや、本人がモデルになった漫画や漁業士が撮影した現場写真を活用しながら、「育てた魚が評価されることにやりがいがある」などの説明を行った。その後、魚類養殖漁場で、筏に収容された 1,000 尾のマダイを別の筏に移す作業体験を実施した。

(2)事前および事後アンケート調査の実施

教室開催前に実施したアンケート調査結果では、約 3 割の生徒が地元で魚類養殖漁業が行われていることを知らなかった。また、魚類養殖漁業のイメージとして、「朝が早い」、「大変そう」、「きつい」などのマイナスのイメージが多かった。

実施後のアンケート調査結果では、受講した 9 割の生徒が「漁業体験教室を通して漁業へのイメージが変わった」と回答した。また、「将来の進路の選択肢の一つに漁業も考えたい」との回答があった。

【成果・活用】

教室内容を、漁業士による講話や現場での作業体験など現場がイメージできる内容で実施した結果、受講後ほぼすべての生徒が「漁業のイメージが変わった。」と回答し、本取組が地元漁業への関心を高めるきっかけになったと考えられる。



写真 魚類養殖漁業体験教室
a: 高度衛生加工施設の見学
b: マダイの神経締め
c: 漁業士による講話
d: 漁業士による作業説明
e, f: 魚類養殖場での作業実習